事故等に関する包括的公表　（令和５年４月１日～令和５年５月31日）

№.	発生年月	発生場所	種　別	概　　要	再発防止策
1	R05.05	特定困難	骨　折	４月中旬から、ベッド上での体位について、特定の向きに傾く傾向が現れ、下肢への接触の際などには痛みを訴える表情がみられるようになりました。苦痛表情の出現に軽減する様子がみられなかったことから、５月初旬にレントゲン検査を実施し、左大腿骨頸部骨折が確認されました。受傷経緯については特定が困難な状況です。なお、保存的療法で対応を継続いたしました。	受傷の起点、経緯に関しては不明ですが、重症心身障害のある方の骨折リスクについて、改めて認識を深め、一層愛護的なケアと丁寧な経過観察に努めるよう徹底を図りました。 また、腫脹や熱感、皮下出血など、明らかな骨折症状が出現していない場合であっても、苦痛表情などが認められる場合には、骨折を疑い、早期に検査を進めることといたしました。